

行ってみよう！やってみよう！  
**お出かけガイド**  
イベント・講座情報

このコーナーでは、市内で開催されるイベントや講座などを紹介します。

**グルメコンテスト in まつり宮崎**

特産品を詰め込んだスイーツを出品



今年で8回目となる「MRT ご当地グルメコンテスト in まつり宮崎」。今年は、小林のフルーツをふんだんに使った「甘めモ〜甘メロン」を出品します。ぜひご来場ください。●日時＝8月18日（土曜）12時～19時、19日（日曜）10時～17時●場所＝MRTmicc2階●費用＝入場料無料、1食500円●問＝商工観光課（Tel 23 - 1174）

スタンドアップパドル  
**小野湖でSUP体験**

夏を満喫しよう！（完全予約制）

コツさえつかめば簡単に立つことができ、安定感もあるので子どもでも安心。インストラクターが丁寧に指導しますので、初心者も大歓迎です。●期間＝10月31日まで（第2・4木曜は休業）●時間＝10時～、13時～、15時～（1回60分～90分）●料金＝大人3000円、中学生2000円、小学生1500円●問・予約＝すきむらんど（Tel 48 - 2480）



**小林市プール情報！夏休みはプールを楽しもう！！**

**小林総合運動公園**



ウォータースライダーや児童プールがある小林総合運動公園内の屋外プールが開放されます。●期間：8月31日（金曜）まで●時間：10時～12時、13時～17時●料金：大人410円、小中高生200円、未就学児100円●問：市営プール（Tel 21 - 0577）

**のじりこぴあ**

湧水を利用したのじりこぴあ。大小2基のウォータースライダーも楽しめます。●期間：9月2日（日曜）まで●時間：10時～17時●料金：大人500円、小中学生300円、幼児（3歳以上）200円、見学200円●問：のじりこぴあ（Tel 44 - 3000）



**すきむら河川プール**



本庄川の清流を利用した、すきむら河川プール。大自然の中、水遊びを楽しめます。●期間：8月31日（金曜）まで●時間：10時～16時●料金：無料●注意：当日晴れていても、河川状況により中止の場合があります。●問：須木庁舎地域整備課（Tel 48 - 3131）

EDUCATION

こばやし文化財かるた・おっといたのかん紙芝居



こばやし文化財かるた



おっといたのかん紙芝居

社会教育課では、昨年10月に小林高等学校美術部と市ガイドボランティア協会が手作りで共同で製作・寄贈いただいた「こばやし文化財かるた」と「おっといたのかん紙芝居」を、多くの要望があったため製品化した。市内の文化財のユーモラスな絵に百人一首のようなゲーム性を持たせたかるたです。は江戸時代より続く田の神さあ

文化の中でもユーモアと優しさがあふれる風習の一つを紙芝居にしたものです。社会教育課（小林中央公民館）窓口で「こばやし文化財かるた」を販売しています。価格は1000円（税込）。また、かるたや紙芝居をとおして市内の文化財を知り覚えてもらい、愛着を持っていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。●問：社会教育課 Tel 22・7912

シリーズ  
**学校の働き方改革**

先生が子どもとじっくり向き合うために Vol.1

日本全体で加速する「働き方改革」。義務教育の場、小中学校でも待たなし、の変化が求められています。今、教育現場はどうなっているのか。長時間労働を是正しながら、教育の質を高めるには何が必要なのか。シリーズを通して考えていきます。

「待たなし」の働き方改革。なぜ学校？ AI（人工知能）・ロボット時代を生き抜く「ヒト」としての力の育成。いじめ、不登校、貧困や児童虐待など諸課題への対応。社会の急激な変化が進む中、子どもを取り巻く課題は複雑に、そして多様化してきています。子どもの成長にとって重要な場である学校への期待がさらに高まる中、「プログラミング教育の導入」、「5・6年生の外国語の教科化」など話題の「新学習指導要領」の全面実施も2020年度と目前。市内の小中学校も今、かつてない繁忙期を迎えています。一方、学校現場では、教師の長時間労働が問題となつていきます。国が行った調査（教員勤務実態調査「平成28年度」）では、小学校で3割、中学校では6割近くの教師が、「過労死ライン」に達する月80時間以上の時間外労働を行っている実態が明らかとなりま

- 今年度の「学校の働き方改革」事業（一部抜粋）
- 顧問や引率ができる部活動指導員のモデル配置
  - 教員の事務的業務の補助を行うサポートスタッフのモデル配置
  - 部活動休養日、学校閉庁日の設定
  - 働き方改革実行会議の設置
  - 非常勤講師（複式学級・多人数の特別支援学級）の配置
  - ALT（外国語指導助手）の増員
  - 特別支援教育支援員の増員 など

した。教師の多忙化は、教師の心身の健康面だけでなく、「教育の質」、「教師が子どもと向き合う時間」にも影響を及ぼします。この課題を解決するため、教育委員会では左表のとおり、さまざまな事業を展開します。今後このコーナーでは、各事業の紹介や背景、学校の実態や国の動向などを紹介します。また、子どもたちの現在と未来を託す学校を、わたしたちは「地域」、「市民」として、どう支えていくべきなのか、についても考えていきます。